



TITLE:

目次・研究費・プロジェクト活動
・平成25年度博士論文・平成25年
度修士論文・平成25年度卒業論文
・執筆者紹介・投稿規程・奥付

AUTHOR(S):

CITATION:

目次・研究費・プロジェクト活動・平成25年度博士論文・平成25年度
修士論文・平成25年度卒業論文・執筆者紹介・投稿規程・奥付. 京都
大学大学院教育学研究科紀要 2014, 60

ISSUE DATE:

2014-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/189316>

RIGHT:

京都大学大学院 教育学研究科紀要 第60号

目 次

論 文：

公立図書館のフィルターソフトをめぐる法的判断と図書館思想…… 川崎 良孝・福井 佑介	1
－ブラッドバーン事件における「意見確認」を中心に－	
戦時経済の「遺産」仮説の検討…… 岩井 八郎	25
－SSM調査の再分析－	
「ひきこもり」と役を演じる感覚に関する一考察…… 森崎 志麻	45
－「遊び」の概念を手がかりに－	
図書館の倫理的価値としての「知る自由」と法学的「知る権利」…… 福井 佑介	59
複数大学の連携と組織化による教育プログラムの開発と普及…… 柴 恭史	71
－地域公共政策士プログラムを事例として－	
ブラジルの公立学校管理職採用制度のあり方…… 田村 徳子	85
－校長選考方法を中心に－	
アラブ首長国連邦における連邦立大学の内部質保証…… 中島 悠介	97
－UAE大学を事例として－	
ベトナム高等教育の社会主義的改造過程に関する一考察…… 関口 洋平	111
－ベトナム共和国接收前後の比較的検討を通じて－	
台湾の高等教育における社会人プログラムの定着と役割の拡大…… 廖 于晴	125
－大学夜間部の導入と改革に焦点をあてて－	
インドにおける国立大学の役割…… 渡辺 雅幸	139
－「大学の目的」に着目して－	
木村素衛における美的人間形成…… 門前 斐紀	153
－「絶対無の美学」から美的体験を考える－	
「自覚」概念の存在論的捉え直し…… 中村 育子	167
－上田閑照の「自覚」の思想を手がかりにして－	
教育における「意味」と「価値」の探求…… 山本 一成	181
－エドワード・リードの生態学的経験科学を通して－	
死者の記憶から立ち上がる市民的倫理…… 朝岡 翔	195
－リケールの記憶と歴史に関する論究を手がかりに－	
哲学者＝実践家としての久松真一…… 蒲生 諒太	209
－茶道の講話を手がかりに－	
「いやなもの」についての臨床心理学的考察…… 岩城 晶子	223
－PAC分析を用いた検討から－	
仮想空間における「分身」についての心理臨床学的考察…… 時岡 良太	235
摂食障害におけるナルシズムについての心理学的理解…… 江城 望	249

心理臨床における「遊ぶこと」に関する一考察……………	皆本 麻実	261
－第三項という観点から－		
仮死埋葬空想の精神分析理論……………	富松 良介	273
心的作業としての「定位」について……………	浅田恵美子	287
－インタビューと風景構成法による一考察－		
献身的ケアにおける互酬性に関する一考察……………	坂田 真穂	301
－ケア本来のありようと自己課題充足のためのケアを比較して－		
セラピストが“秘密を守る”ことをめぐる一試論……………	坂井 新	315
－世阿弥の「秘すれば花」から学ぶ臨床実践－		
治療者のこころの機能に関する研究……………	日下 紀子	329
－精神分析的な心理療法を中心として－		
心理臨床における非言語的な〈動き〉の意味について……………	佐藤 映	343
病態水準による治療者という鏡の使用の相違……………	木下 直紀	357
－ナルキッソスの神話を素材に－		
月経の心的影響に関する一考察……………	千葉 理未	371
－青年期女性の語りから－		
言語と生命……………	弘田みな子	383
－野村芳兵衛の生活綴方実践を手がかりに－		
現代米国における特別支援教育対象児の学力評価に関する検討……………	羽山 裕子	397
－州テストにおける代替的な評価に着目して－		
オランダにおける自己評価ツール ZEBO の意義と限界……………	奥村 好美	411
－学校の自己評価を充実させる試み－		
胡適の国語教育改革論に関する一考察……………	鄭 谷心	425
－近代中国における白話文・国語運動に焦点をあてて－		
米国における読みの教材集『ヴォイシズ・リーディング』の検討……………	山本はるか	439
－スキルの獲得と内容理解の両立への模索－		
乳児－大人間相互作用における行為と情動の共有理解の発達……………	福山 寛志	453
－相互作用経験が乳児と大人双方に与える影響－		
ディレクター課題を用いたマインドリーディングの発達研究の展望……………	古見 文一	467
情動知能の機能に関する実験研究の課題と展望……………	野崎 優樹	481
大学における教員の省察を促すための枠組み……………	大山 牧子	495

資 料：

研究費	509
プロジェクト活動	
教育実践コラボレーション・センター	513
博士論文	516
修士論文	517
卒業論文	519
執筆者一覧	522
京都大学大学院教育学研究科紀要投稿規程	523

The Legal Decision on Internet Filter in Public Libraries and the Principle of Public Libraries: the Bradburn Case	
..... KAWASAKI Yoshitaka and FUKUI Yusuke	1
Enduring Effects of Wartime Mobilization in Postwar Japanese Society: An Analysis of Social Stratification and Mobility Survey Data in Japan	
..... IWAI Hachiro	25
A Study on “ <i>Hikikomori</i> ” and the Sense of Playing a Role: Through Analysis of the Concept of “Play”	
..... MORISAKI Shima	45
The Relationship between the Freedom to Know as the Ethical Value of Libraries and the Right to Know as a Legal Term	
..... FUKUI Yusuke	59
Development of an Educational Program through Organized Cooperation of Universities: An Example in the Program for Local Public Policy Managers	
..... SHIBA Takafumi	71
The Recruiting System of the Board of Directors in Public Education in Brazil: Methods of Selecting School Principals	
..... TAMURA Noriko	85
Internal Quality Assurance of Federal Universities in the United Arab Emirates: A Case Study of the United Arab Emirates University	
..... NAKAJIMA Yusuke	97
The Process of Formulating Socialistic Higher Education System in Vietnam	
..... SEKIGUCHI Yohei	111
The Influence of Extension Education in Taiwan on the Introduction and Reform of Night Schools	
..... LIAO Yuching	125

Roles of Central Universities in India: Focusing on “Objectives of Universities”	WATANABE Masayuki 139
The Theory of Aesthetic Human Transformation by Kimura Motomori: The Aesthetic Theory in the Concept of “Aesthetics of Nothingness”	MONZEN Ayaki 153
Understanding the Concept of <i>Jikaku</i> (Self-Consciousness) Ontologically: Reconstruction based on Shizuteru Ueda’s Concept of <i>Jikaku</i>	NAKAMURA Ikuko 167
Inquiry to Values and Meanings in Education: Through a Discussion of Edward Reed’s Ecological Science of Experience	YAMAMOTO Issei 181
Ethics Arising from Memories of the Dead: Based on the Study on Memory and History by Ricœur	ASAOKA Kakeru 195
Shin’ichi Hisamatsu as Philosopher-Practitioner	GAMO Ryota 209
A Psychological Study of “Dislikes” Using PAC Analysis through the Examination of a Case	IWAKI Akiko 223
A Clinical Psychological Study of the “Other Self” in a Virtual Space	TOKIOKA Ryota 235
Psychological Understanding of Narcissism in Eating Disorders	ESHIRO Nozomi 249
A Study about “Playing” in Clinical Psychology: From the Viewpoint of the Third	MINAMOTO Asami 261
Psychoanalytic Theory on the Fantasy of Being Buried Alive	TOMATSU Ryosuke 273
About the Process of “Localization” as a Mental Work: A Study by Landscape Montage Technique and Interview	ASADA Emiko 287
Reciprocity in Dedicated Care: The Difference between Care with Original Reciprocation and Care to Resolve Personal Problems	SAKATA Maho 301
A Study on Psychotherapist Confidentiality: Learning from Zeami’s “Keep It a Secret”	SAKAI Arata 315
A Study on the <i>Kokoro</i> Functioning of the Psychotherapist in Psychoanalytic Psychotherapy	KUSAKA Noriko 329
The Meanings of Nonverbal “Movement” in Clinical Psychology	SATOH Utsuru 343

Different Mirror at Each Level of Psychopathology : Through Discussing the Myth of Narcissus	KINOSHITA Naoki	357
A Study of Psychic Influences of Menstruation: Focusing on Narratives of Adolescent Women	CHIBA Satomi	371
Language and Life: Focusing on Nomura Yoshihei's Practices of <i>Seikatsu-Tsuzurikata</i>	HIROTA Minako	383
A Study on the Educational Assessment Methodology for Students with Disabilities in the USA : Focusing on the Alternate Assessment for Statewide Assessment	HAYAMA Yuko	397
A Study of the Significance and Limits of ZEBO in the Netherlands: The Effort to Enrich School Self-Evaluation	OKUMURA Yoshimi	411
A Study of Hu Shih's Theory of Language Education: Focusing on the Modern Vernacular Chinese Movement	ZHENG Guxin	425
An Examination of "Voices Reading" for Reading Instruction in America: Acquisition of Skills and Understanding of Texts	YAMAMOTO Haruka	439
The Development of Sharing Action and Emotion in Infant-Adult Interaction: The Influence of the Interactional Experience on Infants and Adults	FUKUYAMA Hiroshi	453
A Review of Mindreading Research Using Director Task	FURUMI Fumikazu	467
Experimental Studies on the Functions of Emotional Intelligence	NOZAKI Yuki	481
A Framework for Promoting Teachers' Reflection in Higher Education	OYAMA Makiko	495

研 究 費

研 究 費

年月日	課 題 名	氏 名
2013.4.1	新学術領域研究	明和 政子
2013.4.1	周産期からの身体感覚と社会的認知の発達の関連性の解明に基づく障害理解 基盤研究（A）	楠見 孝
2013.10.21	21 世紀市民のための高次リテラシーと批判的思考力のアセスメントと育成 基盤研究（A）	桑原 知子
2013.4.1	学校を中心とする教育空間における力動的秩序形成をめぐる多次元的研究 基盤研究（B）	矢野 智司
2013.4.1	E. FORUM カリキュラム設計データベースを活用したスタンダードの開発 基盤研究（B）	駒込 武
2013.4.1	辺境における空間的・社会的移動と教育－奄美諸島の経験を基軸とした比較 史的研究－ 基盤研究（B）	松木 邦裕
2013.4.1	精神力動的心理療法家のトレーニングに関する開発的研究－国際比較調査を 通して 基盤研究（B）	明和 政子
2013.4.1	ヒトの養育行動における快情動の役割とその進化的基盤 基盤研究（B）	佐藤 卓己
2013.4.1	青年期メディアとしての雑誌における教育的機能に関する研究 基盤研究（B）	岩井 一郎
2013.4.1	「失われた 10 年」以後の教育機会とライフコースに関するパネル調査研究 基盤研究（B）	西岡加名恵
2013.4.1	パフォーマンス評価を活かした教師の力量向上プログラムの開発 基盤研究（B）	高見 茂
2013.4.1	「新しい公共」枠組み下のソーシャル・ファイナンスを通じた教育資源調達 手法の研究 基盤研究（B）	渡邊 洋子
2013.4.1	日英の女性医療専門職の生涯キャリアと養成・支援に関する総合的研究 基盤研究（B）	南部 広孝
2013.4.1	アジアの「体制移行国」における高等教育制度の変容に関する比較研究 基盤研究（B）	稲垣 恭子
2013.4.1	戦後日本の指導者の「ハビトゥス」形成と「界」の構造に関する実証的研究 基盤研究（C）	西平 直
2013.4.1	オールタナティブ教育における「稽古」の思想と「宗教性・精神性」の教育 人間学的解明 基盤研究（C）	野村 理朗
2013.4.1	衝動的反応の制御メカニズムの個人差の解明に関する認知科学的研究 基盤研究（C）	大山 泰宏
2013.4.1	セラピストの発話に関する言語論的分析と訓練モデルの構築	

2013.4.1	基盤研究 (C) 「褒め方・叱り方のタクト」－教育力育成と信頼の場の創出に関する実証研究	鈴木 晶子
2013.4.1	基盤研究 (C) 新教育運動期における学校の「アジール」をめぐる教師の技法に関する比較 史的研究	山名 淳
2013.4.1	基盤研究 (C) ＜他＞文化理解のための政治教育：アメリカ哲学をめぐる文化横断的対話研究	齋藤 直子
2013.4.1	基盤研究 (C) 途上国の中等学校等の多様化と正規性・非正規性に関する国際比較研究	杉本 均
2013.4.1	基盤研究 (C) 統合的な図書館・図書館史研究の構築	川崎 良孝
2013.4.1	基盤研究 (C) タイミング制御が支える音韻的作動記憶と長期音韻知識の相互作用	齊藤 智
2013.4.1	基盤研究 (C) 思考力・判断力・表現力育成のための長期的ルーブリックの開発	田中 耕治
2013.4.1	挑戦的萌芽研究 専門職教育と専門職性に関する異業種間比較研究－成人教育学の観点から	渡邊 洋子
2013.4.1	挑戦的萌芽研究 戦後日本におけるアメリカナイズーションと女性知識人の社会学的研究	稲垣 恭子
2013.4.1	挑戦的萌芽研究 近代日本における流言効果のメディア史的研究	佐藤 卓己
2013.4.1	若手研究 (B) 高次の学力を育成する「教科する」授業の開発研究	石井 英真
2013.4.1	若手研究 (B) 小学校外国語活動において言語への関心を高めるための多言語カードの開発 と効果の検証	黒田真由美
2013.4.1	若手研究 (B) パーソナリティ特性の発達と健康の変化を統合的に理解するための縦断調査 研究	高橋 雄介
2013.4.1	特別研究員奨励費 ヒト乳児における行為と情動の共有理解およびコミュニケーションに関する 発達研究	福山 寛志
2013.4.1	特別研究員奨励費 日本統治下台湾のイギリス人宣教師による伝道事業－不寛容性克服の契機に 着目して	三野 和恵
2013.4.1	特別研究員奨励費 現代日本社会におけるオルタナティブ教育に関する比較社会学的研究	森田 次朗
2013.4.1	特別研究員奨励費 言語の模倣と行為の模倣の共通性を探る実験心理学的・神経科学的検討	中山 真孝
2013.4.1	特別研究員奨励費 近代日本における The Japan Times のメディア論的考察	松永 智子

研 究 費

2013.4.1	特別研究員奨励費 満洲電信電話株式会社における放送文化政策と総動員体制	白戸 健一
2013.4.1	特別研究員奨励費 現代アメリカ合衆国におけるリテラシー教育に関する研究－C. スノーの所論を中心に－	山本はるか
2013.4.1	特別研究員奨励費 マインドリーディングのメカニズムとロールプレイの効果に関する発達的研究	古見 文一
2013.4.1	特別研究員奨励費 抑うつ昇華理論による理解とその心理臨床的治療の探究	堀川 聡司
2013.4.1	特別研究員奨励費 オランダにおける教育の自由と質保証に関する研究－学校評価に着目して－	奥村 好美
2013.4.1	特別研究員奨励費 マイノリティの学力向上のための保護者・コミュニティ・学校の連携のあり方	田村 徳子
2013.4.1	特別研究員奨励費 動機づけられる対象の違いが目標達成時の認知制御の負担に及ぼす影響	後藤 崇志
2013.4.1	特別研究員奨励費 物語理解に伴う主観的体験の個人差に関する研究	小山内秀和
2013.4.1	特別研究員奨励費 心理学実験とシミュレーションによる韻律・音素・意味処理の発達変化についての検討	谷田 勇樹
2013.4.1	特別研究員奨励費 空間認知における俯瞰視点と自己視点：空間情報の学習と想起	杉本 匡史
2013.4.1	特別研究員奨励費 米国小学校における学習障害児支援体制の構築－R T I による通常教育と特殊教育の連携	羽山 裕子
2013.4.1	特別研究員奨励費 スウェーデンにおけるグローバルな視野を育成する教員養成課程の理論的・解釈的研究	武 寛子
2013.4.1	特別研究員奨励費 新生児期からの自己認識と他者理解に関する発達科学研究	今福 理博
2013.4.1	特別研究員奨励費 情動知能が社会的排斥経験後の報復の抑制に及ぼす影響	野崎 優樹
2013.4.1	特別研究員奨励費 共感が援助を導く機構の認知神経科学的検討	日道 俊之
2013.4.1	特別研究員奨励費 乳児期における視－聴－触覚情報処理と言語獲得との関連についての実験心理学的検討	田中友香理
2013.4.1	特別研究員奨励費 アラブ首長国連邦のトランスナショナル高等教育による社会的インパクト	中島 悠介
2013.4.1	特別研究員奨励費 移行期ベトナムにおける高等教育民営化の実験	関口 洋平

教育実践コラボレーション・センター

「子どもの生命性と有能性を育てる教育・研究を目指して」

<活動概要>

平成 19 年度から、教育学研究科の新しいプロジェクト「子どもの生命性と有能性を育てる教育・研究推進事業」が立ち上げられ、教育実践コラボレーション・センターとして、さまざまな活動をおこなってきた。「事業」としての期間は完了し、今年度からは、試みではなく、日常的な実践としてその活動を行っている。つまり、これまでに築かれてきたさまざまな関係性をそのまま継承し、一過性の試みに終わることなく根付かせていくことが、これからのコラボレーション・センターに課せられた使命かと思っている。

コラボレーション・センターの「コラボ」とは、「協力・協同」という意味を持っている。現代の喫緊の教育課題とされている「不登校」「いじめ」「発達障害」の問題に対応するためには、子どもたちの「こころ」に触れていく必要があり、これは、ひいては、子どもの「生命性」を育てることにほかならない。一方、教育現場においては、学力を育てることが忘れられてはならないのも言うまでもなく、子どものもつ「有能性」を育てることもまた同時に重要な課題となる。教育学研究科は、「教育科学」と「臨床教育学」という、まさに「有能性」と「生命性」とに対応した2専攻から成っており、こうしたコラボレーションを支える土壌があると考ええる。

ただ、この「コラボ」はそう簡単なものではない。それは、コラボしようとする「二つのもの」は往々にして矛盾していたり、両立させることが難しいことだからである。では、どうすれば「コラボ」できるのだろうか？それに対する「一つ」の答えがあるわけではない。しかし、子どもに関わる大人がそこから逃げることなく葛藤することで、関わる人の「個性」が立ち現われ、また、子どもは、そうした大人が使う「エネルギー」を感じ取っていくのではないだろうか。子どもたちは大人がどれほど自分たちに「こころの」エネルギーを使ってくれるのかということに敏感であり、また、それに対しては正直に反応してくれるように思う。

本年度は、これまでの本センターの活動を引き継ぎ、どのように発展させていくか議論を重ねてきた。また、教育学研究科の進める大学院生の主体的研究プログラムである「研究開発コロキウム」や、中国などとの国際的な学術交流の取り組みとも連携しながら、活動を展開してきた。具体的な取り組みの主なものは、以下のとおりである。

〈講演会・シンポジウム・ワークショップ〉（2013年4月1日～2014年3月31日）

ワークショップ「童仙房野童いなか塾 自然観察会」

- 日時：2013年6月29日（土）13：30～16：00
- 場所：京都府相楽郡南山城村 旧野殿童仙房小学校
- 主催：教育実践コラボレーション・センター、野殿童仙房生涯学習推進委員会
- 講師：岡幸江教授（九州大学）、京都自然観察指導員（NPO 法人）

ワークショップ「風と雲の広場」

- 日時：2013年8月3日（土）10：00～18：00
- 会場：京都府相楽郡南山城村 旧野殿童仙房小学校
- 主催：教育実践コラボレーション・センター、野殿童仙房生涯学習推進委員会
- 講師：京都舞台芸術協会（NPO 法人）

E.FORUM 全国スクールリーダー育成研修

- 日時：2013年8月17日（土）、18日（日）、19日（月）
- 場所：京都大学文学部新館第1・2講義室他
- 主催：京都大学大学院教育学研究科、教育実践コラボレーション・センター
- 講師：西岡加名恵（京都大学）、石井英真（京都大学）、西平直（京都大学）、大野照文（京都大学）、中池竜一（京都大学）、鋒山泰弘（追手門学院大学）、赤沢真世（立命館大学）、松井保樹（京都産業大学附属中学・高等学校）

展示 「野童いなか塾 童仙房コーナー」（教育学部祭参加企画）

- 日時：2013年11月23日（土）、24日（日）
- 会場：京都大学教育学部本館
- 主催：教育実践コラボレーション・センター、野殿童仙房生涯学習推進委員会
- 体験コーナー運営：ふれあい土曜ひろば（童仙房区ボランティア団体）

北京師範大学・京都大学院生学術交流 2013

- 日時：2013年11月28日（木）、29日（金）、30日（土）、12月1日（日）
- 場所：北京師範大学
- 主催：京都大学大学院教育学研究科（教育実践コラボレーション・センター）、中国・北京師範大学教育学部

E.FORUM 教育研究セミナー

- 日時：2013 年 12 月 12 日（木）13：30～17：00
- 場所：京都大学 法経第 6 教室
- 主催：京都大学大学院教育学研究科、教育実践コラボレーション・センター
- 司会：大山泰宏（京都大学）
講師：荒瀬 克己（京都市教育委員会教育企画監）、山名淳（京都大学）、石井英真（京都大学）、大野照文（京都大学）、内田 真理子（岡山県立勝山高等学校）

セミナー「野童いなか塾 童仙房セミナー」

- 日時：2014 年 3 月 1 日（土）14：00～18：00
- 会場：京都府相楽郡南山城村 旧野殿童仙房小学校
- 主催：教育実践コラボレーション・センター、野殿童仙房生涯学習推進委員会
- 講師：鈴木慎一（早稲田大学）
コーディネーター：前平泰志（京都大学）

E.FORUM 全国スクールリーダー育成研修「第 8 回実践交流会」

- 日時：2014 年 3 月 29 日（土）9：30～17：00
- 場所：吉田南総合館 総合館東棟共東 12
- 主催：京都大学大学院教育学研究科、教育実践コラボレーション・センター
- 講師：西岡加名恵（京都大学）、石井英真（京都大学）、原田三朗（豊川市立一宮南部小学校）

平成 25 年度 学位（博士）授与者及び題目一覧

課程博士 ※平成 25 年 11 月授与まで

氏 名	論 文 題 目
小 原 優 貴	インドの初中等教育における「影の制度」 －デリーの無認可学校の正当性の研究－
河 井 亨	授業／授業外にわたる大学生の学習ダイナミクスについての研究 －ラーニング・ブリッジングの検討－
田 中 崇 恵	“異”なるものをめぐる心理臨床学的探究
坂 井 祐 円	仏教思想に基づくケア論の展開
趙 卿 我	現代韓国における教育評価改革 －パフォーマンス評価の意義と課題－
栗 田 季 佳	障害者に対する態度の構造と偏見低減方法： 潜在的態度と顕在的態度に着目して
笹 倉 尚 子	フィクションをめぐる語りと心理臨床
森 田 健 一	「私」と無意識の出会い －記憶想起時の主観的体験に着目して－
塩 原 佳 典	地域名望家層と近代学校 －幕末維新期における地域秩序の解体と再編－
高 橋 菜穂子	児童養護施設における支援モデル －職員の語りより－
小 山 英 恵	20 世紀初頭ドイツにおけるフリッツ・イエーデの音楽教育改革 －「生」の再興のための理論と実践－
徳 永 俊 太	イタリアの歴史教育理論に関する考察 －歴史教育と歴史学を学ぶ「探究」－
布 柴 靖 枝	クライアントの歴史性と物語生成に関する心理臨床研究 －多世代的視点からみた症状の意味と家族神話－
小木曾 由 佳	ユング心理学における個別性の問題 －ジェイムズの多元論哲学とブーバーの関係論からの照射－
松 井 華 子	描画法の現代的意義に関する心理臨床学的研究 －否定の作用と主体の生成に着目して－
野 口 寿 一	「内的な他者」からみた「葛藤のない」クライアント
梅 村 高太郎	思春期男子の身体化と心理療法 －主体の確立という視点から－
春 木 奈美子	精神分析における 4 つのアボリア －他者、女、行為、症状－
古 川 雄 嗣	偶然と運命 －九鬼周造の倫理学－

論文博士 ※平成 25 年 11 月授与まで

氏 名	論 文 題 目
竺 沙 知 章	学校財政制度における公正とその制度化に関する研究 －アメリカ合衆国学校財政制度改革の検討を中心に－

修 士 論 文 成 績

氏 名	論 文 題 目
稲 川 三千代	早産を体験した母親の産褥期にみられる養育行動および心理・生理変化の実証的検討
中 川 友加里	高等教育機関の研究費配分における研究評価の在り方の検討
中 村 顕	低反応な高校生を捉える － “問題の無い子” の問題－
林 純 次	大西忠治の授業技術に関する一考察
藤 代 諒	イギリスにおけるユースワークの役割と可能性 －日本の青少年育成への示唆－
森 島 奈々子	スリランカの公教育における中等教育の展開 － 1000 Secondary Schools Development Programme に焦点を当てて－
松 田 典 子	モンゴルにおける地方教育施策 －遊牧民に対する取り組みに注目して－
石 橋 優 也	カード選択における知覚要因の潜在的影響
石 本 沙 織	フンボルトの教育改革にみる「力」概念 －「ケーニヒスベルク学校計画」を中心に
梶 村 昇 吾	認知機能の阻害要因に関する神経科学的検討 －脳のデフォルトモードネットワーク調節の観点から－
門 松 愛	バングラデシュにおける幼児教育の普遍化に向けた政府と NGO の取り組み
川 西 理 枝	教育政策と合意形成に関する考察
河 村 泰 文	我が国の学校選択制度における適切な制度設計の検討
佐々木 基 裕	社会学界における現代思想の受容過程 －『社会学評論』の引用分析－
嶋 崎 さや香	教育会図書館の社会的意義 －滋賀県八幡文庫（1904～1909）を中心に－
白 銀 研 五	ベトナムのインクルーシブ教育における包摂と排除 －母親の意識を手がかりとして－
新 屋 裕 太	早産児における自発的啼泣 －音響解析および生理、行動指標からの検討
藤 本 奈 美	メイラ・レヴィンソンによる市民性教育の理論と方法
郭 暁 博	中国における大学院教育の質評価システムの現状と課題 －ドビンズらのモデルをふまえた高等教育ガバナンスの検討－
GONG YUXUAN	香港における就学前教育にかかわるガバナンスの適正化 －質保証システムとバウチャー制の導入

張 語 涵	1920年代中国人女性にとっての教育と結婚問題 －在中アメリカ人女性の議論を媒介として－
TOPACOGLU HASAN	明治百年祭（1968年）と「京都」イメージの確立
小 林 萌 子	オーストラリアにおけるイギリス核実験の争点化過程 －核を巡る社会構造と専門知を問う－
玉 置 真 依	和田性海の僧侶としての成長過程
木 本 将 太	ヴァルター・ベンヤミンの「自伝」
平 川 友 恵	近代日本の看護婦養成におけるジェンダー・リスペクタビリティ・職業規範 －京都看病婦学校を中心として－
堀 雄 紀	ヴォイス・トレーニングにおける語りの解読 －トランスクリプトに見るメタファーを手がかりに－
児 玉 夏 枝	青年期における「支え」と家族機能、家族アイデンティティとの関連について の研究 －文章完成法を用いて－
篠 田 亜 美	月経随伴症状をもつ女性の月経体験と身体性についての心理臨床学的考察
鈴 木 瑠 璃	「居場所」における自己の在り方に関する一考察 －バウムテストに現れるイメージとの関連から－
竹 中 悠 香	<自分>に出会う体験について －粘土制作と円の描画を用いて－
田 附 紘 平	アタッチメントスタイルと自己イメージ、親子関係イメージとの関連 －様相と語る体験に着目して－
千 葉 友里香	箱庭制作後における箱庭と作り手との関係性の変化について
松 枝 拓 生	創造的思考と受動的自己 －ドゥルーズの『差異と反復』を手がかりに－
松 波 美 里	自我体験に関する一考察 －自我体験後尺度の作成と語りの分析－
安 田 帆 那	違和感をめぐる体験の諸相 －自己との関わりという側面から－
山 口 昂 一	自閉症児の空間性と象徴化 －遊び場面の観察から－
門 林 奨	スピリチュアリティ論における合理性の位置づけについて ～ケン・ウィルバーの統合的意識論を手がかりに～

卒業論文決定題目届

氏 名	論 文 題 目
今 西 由香梨	学級づくりにおける構成的エンカウンターの意義と課題
敲 森 亮 太	美術教育の現状と展望 －アール・ブリュットを手がかりに－
河 原 徳 恵	幼児期における共感の発達－行動・認知・生理指標からの検討
高 橋 麻 衣	文芸教育研究協議会における作文教育の検討
徳 島 祐 彌	野瀬寛顕による「学び方」教育の意義と課題
中 西 修一朗	梅根悟のカリキュラム論に関する一考察
三 森 彩 乃	大村はまの国語科単元学習に関する一考察 －カリキュラム構想に着目して－
六 車 有紀子	佐長健司による社会科ディベート授業の理論と実践
森 本 泰 地	中・高運動部活動の高度化と大衆化
谷 野 希	女子特性教育の再考 －静岡県西遠女子学園に着目して－
山 本 英 実	食物分配場面にみる養育者－乳児相互作用の進化的基盤 －オランウータン母子からの検討
山 本 弥 佳	他者の社会的随伴関係が乳児の模倣学習に与える影響
曾我部 和 馬	立ち上がる力と人間の成長 ：エマソンの＜エリート主義＞の考察を通じて
次 橋 秀 樹	永井道雄による入試改革構想の意義と課題 －共通一次試験をめぐる－
本 宮 裕示郎	勝田守一の教養概念に関する検討
上 田 芙由子	孤児から見る家庭教育 －文学に描かれた孤児を通して－
後 あい架	『かわいい』感情を生起する要因 －運動図形を用いた実証的検討－
甲 谷 裕太郎	加藤公明による「考える日本史授業」の意義と課題
西 村 優美子	乳児の行動・生理状態が母子間の抱き行動に及ぼす影響
大 西 孝 史	「翻訳語からみる言葉の広がり －「愛」「人格」「文化」から導く－
鐘 塚 翔 太	嘘の認知的基盤：二重課題法による検討
岩 間 彩 香	大学生における自己の二面性とヘアスタイルへの関心のかかわり
河 村 悠 太	募金広告の性質が援助者の態度と認知に及ぼす影響

酒 井 香 織	ノスタルジア刺激が感情に及ぼす効果
笹 川 果央理	自尊心の多様性と心理的健康との関連 －質問紙と TAT を用いて－
佐 藤 勇 希	センサリーアウェアネスによる心身的負荷への影響 －動作法を用いて－
柴 田 彩 花	中学生における自己への問いとそれへの取りくみ －描画を用いた検討－
島 谷 大 河	ユーモアがワーキングメモリ及び短期記憶に及ぼす影響
白 石 桜 子	Twitter における表現と人格の二面性に関する検討 －箱庭を用いて－
中 江 亜 子	企業ロゴマークに対する記憶と親近感 －色と業界イメージとの調和－
永 渕 祥 可	高校への「登校理由」と「欠席の意義」 －登校回避感情をめぐって－
名護谷 希 慧	自己の表情表出が他者の顔の記憶と印象判断に与える効果
西 珠 美	入院経験に関する心理学的考察 － PAC 分析を用いて－
松 岡 優	過剰適応の特性に関する研究 －対人葛藤場面における反応様式に注目して－
元 木 幸 恵	劣等コンプレックスと対人関係の様相に関する研究 －質問紙と TAT による分析－
柳 岡 開 地	回り道を要する場面でのスクリプトの変更と実行機能との関連の発達の検討
山 崎 基 嗣	演奏体験における『一致感』の心理的意義 －ユングのタイプ論を手がかりに－
杉 村 美奈子	若年性乳がん患者の体験と語り －女性として生きること－
藤 野 正 寛	瞑想技法の違いが脳の持続的活動に与える効果
藤 原 智 之	中高年期の「死への心理的態度」 －メメント・モリは人生の有意味感（SOC）を高めるか－
井 上 京	顕在的自尊心と潜在的自尊心が内集団ひいき・黒い羊効果に及ぼす影響
倉 知 直 弘	フォールスメモリーに関する研究 － DRM パラダイムを用いて－
上 道 尚 人	運動部におけるマネージャーの社会的位置と内的世界 －男子マネージャーと女子マネージャーの比較を通して－
小笠原 裕 介	事故報道における企業イメージの言説分析 －福知山線脱線事故を事例として－
川 島 祐 亮	日本の動物園・水族館における調査・研究の現状と課題
川 西 陸 史	韓国の英語教育 －大学修学能力試験に焦点を当てて－

平成25年度卒業論文

小 池 知 央	「学校支援地域本部事業」の今後の可能性 －国庫補助に頼らない事業推進のために－
篠 田 晴 哉	会社観・職業意識からみた若者の安定志向
瀬 村 成 美	イギリスのコミュニティ教育
田 中 詩 織	認定こども園への移行可能性の阻害要因に関する考察 －私立幼稚園に対する意識調査を通して－
中 河 萌	学童保育の果たす子育て役割の現状と課題
牧 野 耕 大	部活動における体罰言説の変容 －桜宮体罰事件に注目して－
松 尾 祥 汰	現代日本人の人種・民族ステレオタイプ
宮 脇 崇 広	現代日本社会における孤独死の現状について
大 崎 優 美	図書館ネットワークに関する期待と現実： 自治体財政（滋賀県）の視点から
飯 塚 駿 一	教育産業の影響の拡大と、それに伴う学校の在り方の変容
木 下 翔太郎	原発報道のフレーム分析 －スリーマイル島事故とチェルノブイリ事故の報道の日本の特徴を中心に－
黒 岩 徳 将	俳句未経験者における句会の及ぼす影響について
後 藤 裕 介	ブラジル人の子どもの教育権保障問題
高 島 啓	明治知識人の知的基盤 －西田幾多郎の師弟関係を通して－
橋 董	「少女」の表象とナショナリズム －ひめゆり学徒隊の言説分析を中心に－
増 田 瑞 穂	読書会活動の変遷と現代の特徴
菅 沼 武	義務教育における経済科目導入の意義

執筆者紹介（執筆順）

川崎良孝	生涯教育学講座	教授	
福井佑介	生涯教育学講座	博士後期課程 2 回生	
岩井八郎	教育社会学講座	教授	
森崎志麻	心理臨床関連助教		
福井佑介	生涯教育学講座	博士後期課程 2 回生	
柴恭史	比較教育政策学講座	博士後期課程 1 回生	
田村徳子	日本学術振興会特別研究員	比較教育政策学講座	博士後期課程 3 回生
中島悠介	日本学術振興会特別研究員	比較教育政策学講座	博士後期課程 1 回生
関口洋平	日本学術振興会特別研究員	比較教育政策学講座	博士後期課程 2 回生
廖于晴	比較教育政策学講座	博士後期課程 1 回生	
渡辺雅幸	比較教育政策学講座	博士後期課程 1 回生	
門前斐紀	臨床教育学講座	博士後期課程 3 回生	
中村育子	臨床教育学講座	博士後期課程 3 回生	
山本一成	臨床教育学講座	博士後期課程 3 回生	
朝岡翔	臨床教育学講座	博士後期課程 2 回生	
蒲生諒太	臨床教育学講座	博士後期課程 2 回生	
岩城晶子	心理臨床学講座	博士後期課程 3 回生	
時岡良太	心理臨床学講座	博士後期課程 2 回生	
江城望	心理臨床学講座	博士後期課程 3 回生	
皆本麻実	心理臨床学講座	博士後期課程 1 回生	
富松良介	心理臨床学講座	博士後期課程 3 回生	
浅田恵美子	心理臨床学講座	博士後期課程 3 回生	
坂田真穂	臨床実践指導学講座	博士後期課程 2 回生	
坂井新	臨床実践指導学講座	博士後期課程 3 回生	
日下紀子	臨床実践指導学講座	博士後期課程 3 回生	
佐藤映	臨床心理実践学講座	博士後期課程 1 回生	
木下直紀	臨床心理実践学講座	博士後期課程 3 回生	
千葉理未	臨床心理実践学講座	博士後期課程 1 回生	
弘田みな子	教育学講座	博士後期課程 3 回生	
羽山裕子	日本学術振興会特別研究員	教育方法学講座	博士後期課程 3 回生
奥村好美	日本学術振興会特別研究員	教育方法学講座	博士後期課程 2 回生
鄭谷心	教育方法学講座	博士後期課程 2 回生	
山本はるか	日本学術振興会特別研究員	教育方法学講座	博士後期課程 2 回生
福山寛志	日本学術振興会特別研究員	教育方法学講座	博士後期課程 3 回生
古見文一	日本学術振興会特別研究員	教育認知心理学講座	博士後期課程 2 回生
野崎優樹	日本学術振興会特別研究員	教育認知心理学講座	博士後期課程 1 回生
大山牧子	日本学術振興会特別研究員	高等教育開発論講座	博士後期課程 3 回生

京都大学大学院教育学研究科紀要投稿規程

(1) 投稿資格

単著論文の場合、執筆者は、本研究科教員および博士後期課程 1 年次以上の大学院生とし、院生については少なくとも指導教員 1 名の推薦のある者に限る。

上記の資格をもつ者が年度途中で身分を変更した場合にも、少なくとも前期に在籍すれば、投稿資格をもつ。ただし、身分変更を速やかに届けて、変更後にも紀要編集委員会と連絡が取れる状態にあることを条件とする。以上の条件を満たさない場合には、投稿資格を失う。

共著論文の場合、本研究科教員が第 1 著者となり、学内外の研究者（修士課程 1 年次以上の大学院学生を含む）を共著者とするものに限る。

(2) 内容

原稿の内容は未発表の学術論文とする。

(3) 使用言語

原則として自由。ただし、外国人留学生は日本語で投稿すること。

(4) 原稿枚数

A4 用紙で 1 枚当たり「42 字×38 行」とし、教員および共著論文は 25 枚（本文 24 枚＋英文アブストラクト 1 枚）、院生論文は 13 枚（本文 12 枚＋英文アブストラクト 1 枚）を上限とします。外国語論文の枚数もこれに準じます。

(5) 投稿要領

投稿に際しては、執筆注意事項指定の書式に従い、原稿の他にコピーを 2 部添え、締切日までに指定された提出先に提出のこと。また、電子メールで論文の電子データを合わせて提出すること。

(6) 投稿・問い合わせ先

紀要編集委員会。

(7) 原稿の掲載の可否

原稿の掲載の可否については、別に定める審査基準に基づいて紀要編集委員会が審査・決定する。

(8) 著作権

本紀要に掲載された論文の著作権は本研究科に属する。

編集委員 西 平 直 川 崎 良 孝
田 中 康 裕 中 池 竜 一

平成26年 3 月25日 印刷

平成26年 3 月31日 発行

発行人 京 都 大 学 大 学 院 教 育 学 研 究 科
代 表 者 前 平 泰 志

印刷所 株 式 会 社 北 斗 プ リ ン ト 社
〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町38-2
TEL (075) 791-6125

発行所 京 都 大 学 大 学 院 教 育 学 研 究 科
京都市左京区吉田本町
